

「主な取組」検証票

施策展開	2-(6)-ア	地域特性に応じた生活基盤の整備		
施策	⑤ 地域特性に応じた交通・輸送基盤の整備			
主な取組	生活に密着した道路整備(県管理道路)	実施計画 記載頁	140	
対応する 主な課題	県民生活を支える道路の整備にあたっては、地域の特性を踏まえつつ、地域コミュニティや地域活性化への配慮が必要である。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	生活に密着した道路において、地域の特性を踏まえつつ、安全で快適な道路空間を創出する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	国道331号の整備					→	県
	国道507号(八重瀬道路)の整備					→	
		橋詰め広場 完了	宮古島市久 貝～池間添 区間			→	
	平良下地島空港線(伊良部大橋)の整備						
	2区間完了	7区間完了	10区間完了	10区間完了	2区間完了	→	
	その他路線の整備					→	
担当部課	土木建築部道路街路課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
活力創出基盤整備総合 交付金事業費(国道・地 方道)道路、地域連携推 進事業費、地域活力基 盤創造交付金事業費 (道路)、活力創出基盤 整備総合交付金事業費 (街路)、地域活力基盤 創造交付金事業費(効 果促進)街路	30,376,441 (12,093,019)	20,831,109 (11,776,775)	国道331号、国道507号(八重瀬道路)、平良下地島空港線(伊良部大橋)等の整備を行った。【一括交付金(ハード)、内閣府計上】	—
活動指標名			計画値	実績値
完了区間数			2区間	2区間
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	取り組み完了後の効果として、 <input type="checkbox"/> 地域コミュニティの維持・形成 <input type="checkbox"/> 地域活性化 <input type="checkbox"/> 良好な生活環境の確保 が期待できる。			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
社会資本整備総合交付金(道路)、沖縄振興公共投資交付金(道路)、沖縄振興公共投資交付金事業費(街路)、沖縄振興公共投資交付金事業費(効果促進)(街路)	25989449 (9,229,088)	国道331号、国道507号(八重瀬道路)、平良下地島空港線(伊良部大橋)等の整備を行う。【一括交付金(ハード)、内閣府計上】	—

(3) これまでの改善案の反映状況

計画通り進捗しており、前年度同様、事業推進を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
県管理道路の改良済延長	1,100km (21年度)	1,116km (22年度)	1,150km (26年度)	16km	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	目標達成に向け、県管理道路の改良済延長は着々と伸びており、地域特性に応じた生活基盤の確保につながっている。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

交通機能と沿道アクセス機能のいずれを優先するかや、景観、防災への配慮など、地域が道路に求めるニーズが多様化、複雑化してきている。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

画一的な整備ではなく、多様化、複雑化する道路ニーズへの柔軟な対応が必要。

4 取組の改善案(Action)

情報共有を密に行うなど市町村と連携して、地域特性の把握に取り組み、地域のニーズに柔軟に対応した道路整備を推進する。

「主な取組」検証票

施策展開	2-(6)-ア	地域特性に応じた生活基盤の整備	
施策	⑤ 地域特性に応じた交通・輸送基盤の整備		
主な取組	生活に密着した道路整備事業(市町村道)	実施計画 記載頁	140
対応する 主な課題	多様な交通手段を有する本土とは異なり、自動車交通に大きく依存する本県においては、市町村の道路整備のニーズが高いことから、幹線道路網の形成、市町村合併による行政サービスの向上や効率化、交通安全等に配慮した整備が必要である。		

1 取組の概要(Plan)

取組内容	市町村道は、日常生活を支える上で最も基盤的な社会資本であり、道路網の一環を形成する道路、合併市町村の中心部と周辺部を連絡する道路の新設及び改築、公共公益施設や商業施設等を効率的に連絡する道路の新設及び改築等の地域の生活基盤の強化、地域活性化及び良好な生活環境の確保等に資する道路整備を促進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	市町村道の整備					→	市町村
担当部課	土木建築部道路管理課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
<small>沖縄振興公共投資交付金(道路管理課市町村事業)</small> <small>沖縄振興公共投資交付金事業(道路街路課市町村事業)</small>	16,697,805 (4,469,240)	9,888,377 (4,372,138)	市町村道の整備促進【一括交付金(ハード)】	-
活動指標名		計画値		実績値
-		-		-
-		-		-
推進状況	取組の効果			
■ 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	日常生活を支える上で最も基盤的な社会資本である市町村道の整備促進により、生活基盤の強化、地域活性化及び良好な生活環境の確保等につながる。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
<small>沖縄振興公共投資交付金(道路管理課市町村事業)</small> <small>沖縄振興公共投資交付金事業(道路街路課市町村事業)</small>	18,586,710 (6,704,247)	市町村道の整備促進【一括交付金(ハード)】	-

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

計画どおり進捗しており、前年度同様、事業進捗を図る。沖縄県市町村道の改良率も0.1%増加が見られ、事業費も増大傾向で推移している。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
市町村道の改良済延長	4,044km (21年度)	4,061km (23年度)	増加	17km	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—

状況説明

整備延長の伸びも見られ確実に整備が進んでいる。今後も着実に増加することが期待できる。

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

市町村道は、国道・県道とともに道路ネットワークを形成しており、県民の日常生活を支える上で最も基盤となる社会資本であるが、未だ未整備箇所も多く、また、老朽化の進展による修繕の必要な市町村道が多く存在する。

沖縄振興公共投資交付金により、より実情に沿った特色のある事業採択が可能となったことから、市町村道の整備に対する要望が多くある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

予算の制約もある中で、市町村に対し効果的・効率的な道路整備や既設道路の修繕を指導する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

予算の確保に努めるとともに、橋梁・舗装等道路施設の点検の実施による計画的・効率的な修繕、優先度を考慮した道路整備を図るよう市町村を指導し、地域活性化及び良好な生活環境の確保に資する道路整備を促進する。

市町村からの問い合わせに迅速に対応すると共に、新たな取り組み[無電中化事業(要請者負担方式)や効果促進事業等]や類似事例紹介等の情報提供を行う。

「主な取組」検証票

施策展開	2-(6)-ア	地域特性に応じた生活基盤の整備	
施策	⑤地域特性に応じた交通・輸送基盤の整備		
主な取組	金武湾港の整備	実施計画 記載頁	140
対応する 主な課題	沖縄県は、供給系統が独立していることに加え、離島が多いなど電力供給面で構造的な不利性を有していることから、供給コストの削減等に取り組み、電力の安定的かつ適正な供給の確保を図る必要がある。		

1 取組の概要(Plan)

取組内容	タンカーなど大型船の離接岸を支援するため、金武湾、中城湾両港を行き来するポートサービス船、遊漁活動やもずくの養殖等で海中道路を南北に頻繁に往来している小型船等の航行安全の確保に加え、海洋性レクリエーション利用者の水難事故防止のため、海中道路を南北に結ぶ航路の整備を行う。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	航路浚渫				供用開始		県
	航路の整備 平安座南地区						
担当部課	土木建築部港湾課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
金武湾港湾改修事業	379,408 (116,220)	202,939	金武湾港において、海中道路を南北に結ぶ航路の整備 【一括交付金(ハード)】	再掲 3-(1)-イ P156
活動指標名			計画値	実績値
航路浚渫			-	整備中
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	航路浚渫を行うことにより、タンカーなど大型船の離接岸を支援するために金武湾、中城湾両港を行き来するポートサービス船の航行安全を確保し、安定的かつ適正な電力事業に寄与する。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
金武湾港湾改修事業	150,000	前年度に引き続き、海中道路を南北に結ぶ航路の浚渫を行う。 【一括交付金(ハード)】	再掲 3-(1)-イ P156

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

計画通り進捗しており、前年度同様、事業推進を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
-	-	-	-	-	-
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
航路整備が必要な港湾数	13港 (H21)	12港 (H23)	11港 (H25)	↗	-
状況説明	平成24年度は、海中道路をはさんで航路北側(金武湾港側)と南側(浜比嘉島側)において浚渫を行っており、目標に向けて重点的に整備を推進することで早期供用を目指している。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

- 1)計画航路付近にモズク養殖場があることから、環境対策に十分に配慮しながら整備を行う必要がある。
- 2)マリンスポーツや潮干狩り等、海洋利用者の安全性や利便性に配慮しながら整備を行う必要がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- 1)もずくの収穫時期等に配慮して、工事時期を5月から11月と制限して、限られた工事期間において効率よく事業を推進する。
- 2)航路利用者の利便性に配慮した施工手順などを検討する。

4 取組の改善案(Action)

- 1)もずくの収穫時期等に配慮して、工事時期を5月から11月と制限して、限られた工事期間において効率よく事業を推進する。
- 2)航路利用者の利便性に配慮して、航路を暫定的に使用できるような整備計画により事業を推進する。

「主な取組」検証票

施策展開	2-(6)-ア	地域特性に応じた生活基盤の整備		
施策	⑤ 地域特性に応じた交通・輸送基盤の整備			
主な取組	伊平屋空港の整備	実施計画 記載頁	140	
対応する 主な課題	空港は、県民の重要な移動手段となることから、地域特性に応じた空港整備に取り組む必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	伊是名・伊平屋地域における生活利便性の向上や産業の振興を図るため、空港整備に取り組む。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	調査、設計		設置許可申請～空港整備			→	県、国
担当部課	土木建築部空港課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
県単離島空港整備事業	49,436 (23,625)	32,898 (23,625)	・伊平屋空港建設が周囲の環境に与える影響を検討したが、就航機材の決定に時間を要しており、航空会社を含めた関係機関との協議が遅れている。【県単等】	再掲 3-(1)-ア 153項 3-(11)-ウ 295項
活動指標名			計画値	実績値
環境影響評価書の作成			-	1空港
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	・環境影響評価条例に基づく評価書の手続きが完了し、着実に空港整備事業が進捗している。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
県単離島空港整備事業	16,538 (16,538)	・航空会社の就航同意を得る。 ・環境影響評価条例にかかる手続きを進める。【県単等】	-

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

・やや遅れているものの、早期に協議会を開催し、事業進捗を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
離島空港の年間旅客数	313万人 (22年)	349万人 (24年)	381万人	+36万人	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	・八重山圏域に新石垣空港が開港したことで離島航空路線全体の旅客数は増加しており、また、伊平屋空港の整備により3万2千人の旅客数の増加が見込まれることから、目標に向けて順調に推移していくと考えられる。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

- 1)航空会社は、新規の航空路開設に慎重である。
- 2)一般空港予算が大幅に縮減されている。
- 3)環境影響評価書知事意見を受け、計画を見直す必要がある。
- 4)就航機材で施設の整備規模が決まるため、航空会社と協議し、整備規模を検討する必要がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- 5)知事意見を受け、施工規模の変更を行っており、変更案に対する合意形成を得る必要がある。

4 取組の改善案(Action)

- 1)3)4)5)就航条件について航空会社を含めた関係機関と協議を行うとともに、修学旅行の誘致を行うなど、伊平屋村、伊是名村による積極的な航空需要の喚起を促進する。
- 2)国に対する予算要求において、伊平屋空港の新規整備の必要性を訴えていく。

「主な取組」検証票

施策展開	2-(6)-ア	地域特性に応じた生活基盤の整備		
施策	⑤ 地域特性に応じた交通・輸送基盤の整備			
主な取組	粟国空港の整備	実施計画 記載頁	140	
対応する 主な課題	空港は、県民の重要な移動手段となることから、地域特性に応じた空港整備に取り組む必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	粟国地域における生活利便性の向上、産業の振興、持続可能な離島地域社会の実現を図るため、空港整備に取り組む。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	調査、設計		設置許可申請～空港整備			→	県、国
担当部課	土木建築部空港課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
県単離島空港整備事業	21,525	6,457	滑走路整備に必要な舗装強度などの調査を行った。【県単等】	再掲 3-(1)-ア 153項 3-(11)-ウ 295項
活動指標名			計画値	実績値
既設舗装の調査			-	4箇所
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	・関係機関等と綿密に調整を行うことで、地元自治体が求めている「空港施設」や「運航頻度」などの内容を得ることができ、平成26年度事業着手に向けて前進した。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
県単離島空港整備事業	15,068 (15,068)	・土木および照明施設の設計を行う。【県単等】	-

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

・計画通り進捗しており、前年度同様、事業進捗を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
離島空港の年間旅客数	313万人 (22年)	349万人 (24年)	381万人	+36万人	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—
状況説明	・八重山圏域に新石垣空港が開港したことで離島航空路線全体の旅客数は増加しており、また、粟国空港の整備により1万5千人の旅客数の増加が見込まれることから、目標に向けて順調に推移していくと考えられる。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

1)地元粟国村は、現在就航している機材(9人乗り)の大型化を要望している。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

2)国等の関係機関とも綿密に調整を図り、その結果を基本設計に反映させた上で、空港整備の方向性を決定する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

1)2)空港整備の方向性を決定するため、「粟国空港整備促進協議会」を開催し、地元の合意形成を図る。